

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 2 年 9 月 7 日

番号	1	質問者	鈴木逸朗	タイトル	防疫目的での P C R 検査の拡大を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	新型コロナ対策について	(1) 内閣総理大臣への「新型コロナ対策に関する緊急申し入れ」（志位和夫日本共産党幹部会委員長 2020 年 7 月 28 日）を読まれての感想は。 (2) 朝来市民への検査体制の現況について。 ・市内(市民)の P C R 検査数はどの程度か。また陽性率は。 ・市内の濃厚接触者は、すべて P C R 検査を受けられたのか。また濃厚接触者以外の P C R 検査は行われたのか。 ・改めて、市民の P C R 検査の検体採取と検査はどこで行われているのか。 ・診断のため自費で P C R 検査を受けられた市民は。 (3) 今この時期だからこそ検査の抜本強化を。 ・国は行政検査で行う P C R 検査を、自治体の判断で濃厚接触者以外にも拡大することが可能としている。市ではどのように対応していくのか。 ・検査体制強化のために、せめて但馬にも検査センターを求める声もあるがどう考えるか。 ・診断目的から、防疫目的で行うためにも、保健所の強化は重要。県への要望と市で可能なことは何か。 (4) 感染者差別、バッシング防止策を。			市長
2	困難を乗り越え、子どもたちに少人数学級をプレゼントしよう	(1) 少人数学級を求める声が広がっているが、教育長はどのように受け止めているか。 ・ O E C D 加盟国の小学校 1 学級あたりの平均児童数はどのようになっているか。 ・分散登校時の子どもたちの声は。 ・国会答弁(総理大臣・文科大臣など)をどのように受け止めているか。 (2) 少人数学級への課題について。 ・そもそも今の普通教室の基準では、何人の児童、生徒数が適切か。 ・学校施設整備へ何が、どの程度必要になるか。 ・教職員確保への考え方は。			市長 教育長

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 9 月 7 日

番号	1	質問者	西 本 英 輔	タイトル	権利擁護・人権都市宣言を！
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者
1 障害者の人権 について			(1) 市内在住の障害者はどのくらいおられるのか。		市 長 教育長
			(2) 不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮を規定した障害者差別解消法が施行され5年目を迎えた。市内ではどのくらい合理的配慮が浸透し、推進されているか。		
			(3) 障害者の人権擁護、権利侵害に関する相談は年間どのくらいあるか。		
			(4) 市内在住の障害者の内、どの位の方が就労（一般就労、障害者雇用問わず）を希望しているかお尋ねします。		
			(5) 市内事業所での障害者雇用率はどのくらいで、いわゆる三障害別ではどうか、また近年の推移はどのようなものか。		
			(6) 障害者雇用率が達成できておらず、助言・指導・勧告等の行政指導を受けた事業所はあるのか。		
			(7) 地方公共団体として、朝来市の障害者雇用の実態はどうか。		
2 ひきこもりに ついて			(1) 昨年度からひきこもり対策推進事業が実施されている。実施以後、市内でのひきこもり者数の把握はどのくらい進んでいるか。		市 長 教育長
			(2) ひきこもりの把握、特に中高年のひきこもりの把握が難しい理由は何と考えられるか。		

3 コロナ差別について	(1) 8月には市内でも新型コロナウイルスの陽性者が確認された。県が発表していない個人の特定や、出所不明の噂、また大なり小なりの謂れなき誹謗中傷、差別もあると聞く。市として、その現状を把握されているか。	市長 教育長
4 権利擁護・人権都市宣言を	(1) 朝来市では平成22年11月に「人権についての市民意識調査」を実施し、5年後の平成27年12月にも同調査を実施されている。前回調査の5年後にあたる本年も実施される計画のようだが、新たに「関心のある人権問題」に加えた項目はあるのか。 (2) 権利擁護や人権に関する考え方が醸成された社会、全ての人が平等で差別を許さない街、それこそが市長の施政方針に「人権の尊重されるまちづくりの推進」とあるように、「あなたが好きなまち・朝来市」の1つの在り方ではないかと考える。全ての人が朝来市に生まれて良かった、住んで良かったと思えるよう、今以上に権利擁護、人権に関する教育や合理的配慮の推進を図るべく、朝来市として「権利擁護・人権都市」宣言をしてはどうか。	市長 教育長

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 9 月 7 日

番号	2	質問者	小 山 裕	タイトル	安心・安全な朝来市を目指して
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	新型コロナウイルス対策について	(1) 新型コロナウイルス感染者が朝来健康福祉事務所管内で発生したことについて、市長の所感を問う。 (2) 新型コロナウイルスに関する本市への相談・問い合わせはどのようなものがあるのか。 (3) 感染者に対する誹謗中傷などの事例はないか。 条例制定を行っている地域もあるようだが対策の必要性は。 (4) コロナ禍については、一家の構成員の一人が感染すると当人のみならず家人全てに雇い止めの及ぶことが懸念され、ひいては一家の存続に関わる恐れがないとは言えない。このことに関し、市長の所見は。 (5) 接触確認アプリ「COCOA」の活用推進を図ることについての考え方は。 (6) 令和 2 年度に予算化されていた事業実施に対するコロナ禍の影響（中止等）は、どの程度あるのか。			市 長
2	空家対策について	(1) 朝来市空家等実態調査（基礎調査）が実施されているが空家と判断する基準は過去の調査と同等の基準で行われているのか。 (2) 朝来市空家等対策計画の進捗状況を問う 空家等対策に関する具体施策から既存制度・事業の進捗状況は。 (3) 新たな制度・事業の検討が挙げられているが実施状況は。			市 長

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 9 月 7 日

番号	3	質問者	藤 原 正 伸	タイトル	地域自治と支所の未来
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	まちづくりセンター構想について	(1) 生涯学習センター条例の一部改正により、山東生涯学習センターの機能が山東支所庁舎に移転されました。山東庁舎にあっては、利用者の導線が集中すると共に、支所窓口においても、従来の支所の業務に生涯学習センターの業務が加わった訳ですが、現在の山東庁舎の状況をどのように評価されているか伺います。 (2) 支所機能と生涯学習センター機能の統合は、まちづくりセンター構想の具体化であるとされています。山東地域においては、旧山東生涯学習センター施設の老朽化もあって山東支所庁舎へ施設を統合する形になりました。今後の他地域におけるまちづくりセンター構想の実践においても、施設統合を含む業務統合を基本とされるのか、お考えを伺います。 (3) まちづくりセンターが担う機能の柱の一つが生涯学習活動に関する機能とされています。生涯学習活動に関する企画調整は既に支所の担っている業務ですが、まちづくりセンター化の中で今後どのような拡充強化が図られるべきか、お考えを伺います。 (4) まちづくりセンターが担う機能として、生涯学習活動と並び、地域まちづくりの役割が挙げられます。これも既に支所の役割とされておりますが、まちづくりセンター化によってどのような変容があるのか伺います。 (5) 地域まちづくりの役割を考える上では、地域課題解決のために設置されている地域自治協議会との関係が重要と考えます。現在、地域自治協議会に対してどのような支援がなされているか伺います。 (6) 今後、まちづくりセンター構想の具体化と進展の中で、地域自治協議会がどのように位置づけられていくのか、その関係性について、お考えを伺います。 (7) 以上の他、まちづくりセンターとしてさらに担うべき機能について、お考えを伺います。			市 長

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和2年9月7日

番号	4	質問者	足立義美	タイトル	豊かな森づくりをめざそう
質問事項			質問要旨		答弁を求める者
1 豊かな森づくりについて			(1) 朝来市の森の現状について、市はどのように認識されているのか、お尋ねします。 (2) 朝来市が所有している森林面積とその土地には、スギ、ヒノキ、その他どのような木がありますか。 (3) 市行造林地におけるカーボンオフセットの現状と今後の見込みについてお尋ねします。 (4) 朝来市の森林・林業・木材産業の現状等基礎調査の活用についてお尋ねします。 (5) 長期的な視点に立った森づくりの構想である朝来市森林整備計画については、どの程度市民向けに広報していますか。 (6) 朝来市森林・林業・木材産業ビジョンの作成は、いつ頃になるのかお尋ねします。 (7) 3森林組合の合併が見通せない状況とお聞きしていますが、課題や指導状況についてお尋ねします。		市長
2 森林環境譲与税の積極活用について			(1) 森林環境譲与税の活用状況についてお尋ねします。 (2) 森林環境譲与税の一部を、市は基金に積み立て、後年度に活用する考えのようですが、山積する課題を整理し、一日も早く活用すべきだと考えますがいかがですか。 (3) あさご緑の少年団が各種活動を展開されていますが、指導者はどんな方ですか。また、市からの支援はありますか。 (4) 市内には、緑の少年団のほかに森林ボランティア活動をしているグループ等があるのかお尋ねします。 (5) 森林に関し、市独自の補助制度があるのかお尋ねします。		市長

	(6) 朝来市民が兵庫県立林業大学校に入学されたケースはありますか。 (7) 担い手の確保ということで、市内に認定林業事業体はあるのかお尋ねします。 (8) 市内の木材需要施設立地把握と育成について、お尋ねします。 (9) A材、B材について、資源の有効活用の点から選別活用できる取り組みが必要と考えますが、いかがですか。 (10) シカの食害防止に、シカの捕獲、防護柵設置等に対する補助制度と活用状況についてお尋ねします。 (11) 計画やビジョンづくりに参画する協議会等の組織化が必要と考えますがいかがですか。	
3 竹田城跡観光を取り巻く課題等について	(1) 今年開山後の入場者数の推移はどのようなになっているのか、お尋ねします。 (2) 警備員の配置の見直し等、経費削減策についてお尋ねします。 ア これまでの削減実施状況 イ 削減検討中、または、今後の検討方向 (3) 竹田城跡維持管理事業の一部について、他の管理運営主体に委託していく考えについて、お尋ねします。 ア 市直営方式のメリットとデメリット イ 委託検討中、または、今後の検討方向 (4) 山城の郷の指定管理状況について、お尋ねします。 ア 現指定管理者の委託期間 イ 市の経営改善アドバイス等 (5) 最後の城主、赤松広秀を特色ある学校づくり事業の教材として活用することについて、お尋ねします。	市長 教育長

	(6) 市内宿泊施設、飲食施設等の活性化について、お尋ねします。 ア 現状の把握と認識 イ 市の経営改善対応等 (7) 国の Go To キャンペーンを受けて、市として積極的に取り組まれているものがあるのか、お尋ねします。	
--	---	--

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 9 月 8 日

番号	5	質問者	岡 田 和 之	タイトル	G D P 大幅マイナスの影響は
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	市内経済の現状と対策について	(1) 内閣府が発表した今年 4～6 月期の G D P は、物価上昇の影響を差し引いた実質で前期（1～3 月期）に比べ 7.8% もの大幅なマイナスとなり、落ち込みが 1 年間続くと仮定した年率換算では、27.8% と劇的な下落となりました。3 期連続のマイナスとなりますが、市内の雇用や事業者の現状はどうなっているのかお尋ねします。 (2) コロナ対策の経済支援策で一息つけた事業者も、コロナ不況が長期化する中で再び資金繰りが苦しくなっています。引き続き有効な対策が必要と考えますが、市長のお考えをお尋ねします。			市 長
2	国民健康保険について	(1) 新型コロナに対応する国民健康保険税の減免制度が実施されています。減免申請の件数と減免額など、直近の状況をお尋ねします。			市 長
3	平和行政について	(1) 核兵器禁止条約の発効に必要な 50 か国の批准まであと数か国となり、条約の発効は目前に迫っています。先日、核兵器廃絶国際署名に県内すべての首長が署名しました。核兵器廃絶に向け確かな前進が生まれています。朝来市平和都市宣言の理念に基づいて平和行政を推進することが求められていますが、どのように取り組むのかお尋ねします。			市 長 教育長

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 9 月 8 日

番号	6	質問者	森 下 恒 夫	タイトル	先進事例に学ぶべし
質 問 事 項		質 問 要 旨			答弁を 求める者
1	豊岡市の戦略的政策例について	(1) 平田オリザ氏を顧問に迎え演劇によるまちづくりを推し進め「小さな世界都市」を目指すという壮大な計画が進んでいるが、どう評価されているか伺う。 (2) 演劇で経済の活性化を図るという明確な目的を持って政策が行なわれていることは、注目に値すると思うが、所見を伺う。 (3) こうのとり米を海外に売るという発想が素晴らしいと思う。米に限らず同じような取組を本市でもやるべきと思うが所見を伺う。 (4) 専門職大学の建設が進んでいるが、本市の誘致に対する取組のどこに問題があったとお考えか所見を伺う。 (5) コロナ後、都会の密を避ける動きを察知し、移住策促進の為の補正予算を出すとの報道があった。本市の対応について伺う。			市 長
2	会津若松市のスマートシティによる地方創生について	(1) スマートシティという新たな地域イノベーションを政府は「S o c i e t y 5.0」戦略で推進を表明している。本市は、どの様に受け止め検討しているか伺う。 (2) 内閣府、総務省、経済産業省及び国土交通省が連携して提唱するスマートシティアーキテクチャとスマートシティの基本プラットフォームとなる「都市 O S」や導入の為のガイドブックを内閣府が公開しているが、本市ではどの様に受け止め検討しているのか伺う。			市 長

	(3) 本市ではこの４月に健幸づくり条例が施行された。会津若松市で取組まれている様に、健康長寿を実現する為にデジタルイゼーションの活用が有効と言われている。まずはここから取組むべきと思うが所見は。 (4) スマートシティは会津若松市、奈良県橿原市の二市が先進している。今すぐ調査、研究を始めるべきと思うが所見は。 (5) スマートシティは社会課題解決を目指したもので、医療、交通、農業、観光業、製造業等幅広い産業における生産性の向上が期待できるものであるが、一朝一夕にはできない。会津若松市では８年の準備期間を要している。 市長任期がせまる中、改めて市長の決意を問う。	
--	--	--

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 9 月 8 日

番号	7	質問者	吉 田 俊 平	タイトル	改革なくして発展なし！
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	意識改革について	(1) 私は、まちの発展のためには、行政は大きく変わるべきだと考えている。市長は、まちの発展のために何が必要だと考えているか、ご見解を伺う。			市 長
2	新型コロナウイルス対策について	(1) 新しい生活様式とは具体的にどういったことかは厚生労働省から国民（個人）に実践例が示されているが、実践例が徹底されるような周知は未だされていない。また、新しい生活様式が意味していることは、新型コロナウイルス感染症を前提にした生活であり、感染が終息するまでの間は共存しなければならないということでもある。そこで、個人が行うべきことと、事業者が行うべきことを、整理しながら新しい生活様式が実践されるようしっかりと周知や管理をする必要がある。今後、冬季を迎え、感染が再流行する可能性は高い。個人へは徹底した周知を行い、事業者へは厚生労働省から示されている「業種別ガイドライン」に沿った対策が取られているか管理をすべきであると考えてるが、今後、朝来健康福祉事務所と役割分担や協力を行いながら周知と管理を行う考えはあるか。 (2) 予防接種事業（インフルエンザ予防接種）について、インフルエンザワクチンの優先接種対象者の内、患者の診療に直接従事する医療従事者（救急隊員や市職員を含める）、新型コロナウイルスに罹患して重症化や死亡する割合が高い妊婦、基礎疾患を有する者などに対する無料接種を実施し、現行では対象となっていないが積極的な接種を必要とする者に範囲を拡大すべきと考えるが、どうか。 (3) 朝来医療センターの受入態勢を正確に市民に伝える必要があると考えるが、どうか。また、地元地区にも十分な説明をして然るべきだと考えるが、どうか。			市 長

3	新型コロナウイルス感染症に対応した避難行動について	(1) 避難する場所は、「在宅で避難」、「縁故へ避難」、「車中泊で避難」、「避難所へ避難」と複数の選択肢が示されているが、これが逆に市民や各区の判断を迷わせる元となっている。フロー図や避難条件などもっと分かり易い周知を行う必要があると考える。災害は明日やってきてもおかしくないので早急に対応を考え、迅速に適切な周知をすべきと考えるが、どうか。	市 長
4	介護保険料について	(1) 令和2年6月議会で私が次期介護保険料を上げるべきではないと質問をした際に、市長は「第8期の対応につきましてはでき得る限り負担が増えないような方途を何らか見出していけるよう努力していきたい」とご答弁をされました。そこで、一般会計からの基準外繰出以外に方途は見出されたのか、伺います。	市 長
5	農業振興について	(1) 令和2年6月定例会の私の質問で「市としての方向性としては、先ほども言いましたような担い手の育成、集積を中心としつつ」と答弁されましたが、認定農業者の耕作等面積は市内農地面積 2,300ha の何%か、伺います。 (2) 小規模農家や集落営農等への支援の在り方を見直さなければ農地の維持は今後ままならなくなるが、どうする考えか。 (3) 市内の食料自給率は幾らか。	市 長
6	物流拠点誘致について	(1) 国土交通省は、高速道路を利用するトレーラーが途中で積み荷を交換できる中継拠点を整備する検討をしているようである。そこで、市に物流拠点を誘致すべきである。これは市の地域未来投資促進法基本計画の具体的実現方策であることから是非取り組むべきと考えるが、どうか。	市 長
7	多胎児支援事業について	(1) 多胎児は低体重で生まれるなど、家庭の育児負担が重くなる傾向がある。また、国は今年度から多胎妊産婦への支援として補助率 1/2 の補助を開始している。そこで、多胎児支援事業を実施する考えはないか。	市 長
8	消防機庫のトイレ整備について	(1) 消防機庫にトイレが整備されていない機庫はどれくらいあるのか。また、整備しない理由は何か。	市 長

9 東京パラリンピック支援について	(1) コロナ禍で半数を超える国内競技団体の強化費が不足傾向にあることが判明したようであるが、合同合宿の宿や場所などの提供などで市として支援できることがあるのではないか。	市 長
10 太陽光発電施設の規制について	(1) 兵庫県の「太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例」が平成 29 年 7 月 1 日に施行され、市は事業区域の面積を規則下限の 1000 m ² としたが、その後の申請件数と規制効果はどうであったのか、伺います。	市 長

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 9 月 8 日

番号	8	質問者	上 田 幸 広	タイトル	豊かな人生のために
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	本に親しむ環境作りについて	(1) 赤ちゃんに絵本を贈るブックスタート事業の実施状況と成果について伺う。 (2) 3歳児に絵本を贈るセカンドブック事業を本市で実施してはどうかご所見を伺う。 (3) 本市の図書館では読書手帳を希望者に配布しているが配布枚数などの現状と利用者の反応について伺う。 (4) 雑誌スポンサー制度の現状と課題について伺う。			市 長
2	お悔やみ手続きについて	(1) お悔やみ手続きのスムーズな対応を行う為に「お悔やみコーナー」を設けている自治体があるが、本市での現状と設置見込みについて伺う。 (2) お悔やみ手続きを分かりやすく説明した「お悔やみハンドブック」を本市として作成してはどうかご所見を伺う。			市 長
3	終活について	(1) 高齢者に対して終活相談や支援を行うエンディングサポート事業を検討してはどうかご所見を伺う。 (2) 市独自のエンディングノートを作成してはどうかご所見を伺う。			市 長

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 9 月 8 日

番号	9	質問者	藤 本 邦 彦	タイトル	朝来市の未来のために
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	農業研修生の受け入れについて	(1) 7月の長雨、さらに8月に入ってから高温、少雨は市内農業の現場に大きな影響を与えている。特に野菜農家にとっては大変厳しい年となっている。どのように把握されているか。 (2) 農業は本市にとって大変重要な産業であり、また大切な文化でもある。美しい環境を保全し、コウノトリなど貴重な生き物たちを育む自然を作るのも農業。しっかり守り未来に繋げていかなければならない。 この夏は今のところ大きな災害こそないが、農家にとってはとても厳しく困難な年となっている。そんな市内農家の皆さんの苦境をご理解頂きたい。被害補償だけでなく、技術支援やアドバイス、情報の共有、人的支援など、市独自の多彩な農業支援のあり方について考えて頂きたい。市長のご所見をお伺いする。 (3) 農業の担い手不足を解消するために本市が独自に取り組む「新規就農希望者研修費補助制度」（農業研修生制度）には大いに期待をする。 しかし、制度により担い手を増やすためには様々な課題もある。特に研修生たちが将来定住し営農するための住居と農地を確保することは大きな課題となるのではないかと。 新規就農する研修生が求める住居は当然ながらアパートやマンションの一室と言うわけにはいかない。様々な農具の他に草刈機や管理機、トラクターなど大型機械が必要となり、それらを管理する場所も必要である。肥料や農業資材などを保管するスペースも必要。軽トラと駐車スペースも必要。農家にとって物置きや駐車スペースはいくらあっても足りない。さらに住居の近隣に農地があること。地元農家にとっては当たり前の条件だが、そのような条件を満たす物件を研修生が市内で見つける事は大変困難なように思える。			市 長

	この農業研修生制度では研修生が定住する住居と農地の確保までフォローできないと市内での新規就農に繋がらないのではないかと。 この点についてどのように対応されているのか、また、どのようにお考えかをお伺いする。	
2 移住希望者の受け入れについて	(1) コロナ禍の中、地方への移住を希望される方が増えていると聞く。移住受け入れに力を入れてきた当市としてどのように考えているか。移住相談など増えているのか。 (2) 農業研修生と同様に、一般の移住希望者も住居を見つけることは困難な状況であると聞くがどうか。 (3) 体験住宅はどのように利用されているか。成果はどうか。体験住宅をさらに増やしつつ定住用賃貸物件を増やすことは出来ないか。	市長
3 子どもたちへの全力サポートを	(1) 長期間の休業による子どもたちへの影響をどのように把握し分析されているか。 どのように対応されたか。現在どのような状況となっているか。 (2) コロナ禍の中にあっても子どもたちにとってはかけがえのない時間。感染防止に努めることは当然だが、子どもたちにとって実り大きく豊かな学校生活になるよう、ただ自粛を求めるだけではなく、子どもたちの学習や活動を市や地域が全力でサポートすることも必要だと考える。お考えを伺いたい。	教育長 市長

第 17 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 9 月 9 日

番号	10	質問者	日 下 茂	タイトル	教育の高評価は朝来市を変える	
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者	
1	教育の高評価 は朝来市に活 力を生む		(1)	教育はまちの活力に影響する。 全国から注目を浴びる教育政策が必要でないか。		市 長 教育長
2	バイオマス技 術の導入を急 げ		(1)	プラスチックごみの減少政策と計画の現状は。		市 長
			(2)	バイオマス技術の導入と市指定ごみ袋改善計画 は、あるのか。		
3	朝来市の活力 について		(1)	中心市街地の活力が衰退している。 交流人口、消費人口増、播但線播但道の利用増が 必要と考えるが、市長の考えは。		市 長
			(2)	民間資本を生かす政策、民間の力を活用した社会 資本整備が必要と考えるが、市長の考えは。		